



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

平田ロータリークラブ 週報 ～ No. 1828 (平成24年 2月 2日)



2011-2012 年度

国際ロータリー会長／ カルヤン・バネルジー
2690地区ガバナー／ 伊藤 文利

会長／ 飯塚 詔夫 副会長／ 黒田 昌弘
幹事／ 堀江 卓男 会計／ 横野 良文

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ～ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
2月2日	AAO 島根の地酒をにぎわす会 代表 三 谷 尊 文 様	ふるさとの酒文化を愛し、発展 させるために僕たちにできること
2月9日	フリーアナウンサー・きき酒師 石 原 美 和 様	私の酒楽探訪
2月16日	中国国際交流員 高 嵐 様	中国の紹介

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
37	28	9(3)	82.35%	88.24 %

■欠席者

桐原／園山／石原輝／横野／来間／杉原朋
(石原恵／山根／牧野)

■来訪者

なし

■メイクアップ

2/1 桐原・加藤喜(松江)

■次回例会受付当番

(2月16日) 横野良文／大島卓爾／大谷 孝
(2月23日) 原 泰久／園 裕／園山 繁

2/16(木)・2/23(木)の例会は料亭ほり江で行います

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	2/3(休)	松江南
火	出雲		松江しんじ湖
水	大社		松江 2/1
木			松江東
金	出雲南		

■会長挨拶

明日2月3日は節分、立春の前日です。

冬と春の分かれ目、豆をまく年越し行事は文武天皇の頃よりの行事だそうです。

又、近頃は恵方に向かい太巻き寿司を食べると無病息災になれるといわれ、丸かぶりをする事が流行だそうです、いつ頃からこのような事が行われるようになったのでしょうか。

ちなみに今年の恵方は北西だそうです。

今月は、世界理解月間です。1905年2月23日に最初のロータリー例会の記念日があり、現在この日を「世界理解と平和の日」と呼ばれています。この月に多くのクラブは国際的に活躍する卓話者や交換学生や留学生をクラブ例会に招く等、国際色を強調したプログラムを計画する等の活動を展開し世界の人々の相互理解を推進する月間です。

今月16日には、当クラブでも中国国際交流員の高嵐様をお迎えして、スピーチをして頂くことになっております。

■幹事報告

1. ガバナー・エレクト森田昭一郎様、地区財団委員長 鳥居 滋様より地区夢計画合同セミナーのご案内

日 時 2/19(日) 13:00～受付

場 所 倉敷アイビースクエア

出席者 次期会長・幹事、次期R財団委員長
(当クラブより黒田昌弘次期会長・釜屋次期幹事・加藤昇会員(次期R財団委員長代理))

2. 次年度Rテーマ『奉仕を通じて平和を』

3. 万田の郷よりほのぼの通信 Vol. 26 をいただきました。

■スマイル

田中浩 (本日のスピーカーに三谷様をお迎えして。)

釜屋 (曾田幹広君が1月29日に知念かおり女流プロに公開対局(4子局)で指導を受け、持碁になりました。)

■スピーチ・例会行事

「ふるさとの酒文化を愛し、発展させるために僕たちにできること」

三谷尊文氏(AAO島根の地酒をにぎわす会代表)



昭和47年をピークに日本酒の消費量が下がり、かつて4000あった蔵が1000蔵になった。島根は人口あたりの蔵の数は多い酒どころである。蔵の周囲には、いろいろな文化が花咲く。料理・調味料・酒器等々-----文化の拠点となりえる。

諸説はあるものの、私は日本酒の発祥は平田と信じている。その平田・佐香神社に敬意を表して、自分の店を「佐香や」としている。

そもそも、日本酒が飲まれなくなった原因の一つに、悪い酒・間違った飲み方がトラウマになってしまった人が多い。それは大変残念なこと。

上等な酒を正しい飲み方や知識でいただくことが大切である。量こそは多くないが、若い人たちが日本酒のおいしさを再発見することが多く、魅力を感じる。日本酒の魅力の裾野が広がつつある。上等な酒は冷やして飲む固定概念があるが、適温の燗を薦める。ただし、燗のつけすぎは良くない。蔵の方々も日本酒の燗を薦めている。

ここ10年で、蔵の経営者はともかく、蔵人も世代交代がすすみ、酒が間違いなく上質になってきている。これからも日本酒の素晴らしさを守り伝えていきたい。皆さんもぜひ日本酒をたくさん飲んでいただければと思う。